

理念	子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す			
方針	豊かな人間性をもった子どもを育成する			
目標	1. 元気の子ども 2. 心豊かな子ども 3. やる気のある子ども			
社会的責任	人権尊重	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等は保育の営みが子どもの人権を守るために法的、制度的に裏付けられていることを認識し理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明責任 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しの良い状態を作ること、一方的な「説明」でなくわかりやすく応答的な「説明」をする
	情報保護	<ul style="list-style-type: none"> 保育に当たり知り得た子どもや保護者に関する情報は正当な理由なく漏らしてはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情処理・解決 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情解決責任者である施設長の下に苦情解決担当者を決め、書面における体制を整備する。また、第三者委員を設置する。職員で共通認識を図る。
	健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 健康発育発達状況の把握 異常時の対応（流行病・熱中症・怪我など） 心身状態や家庭生活、養育状況の把握 睡眠時チェック ○健康、衛生集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 環境・衛生管理 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の設備、用具などの清掃(※特に感染症予防対策として換温、手指の消毒の徹底、遊具・玩具の消毒、室内の衛生管理に重点を置く。) 各保育室電解次亜水噴霧器設置 ○給食業務衛生管理 毎月、職員の検便 ○プールの衛生管理 イベント時の食品衛生管理 ○調乳者衛生管理
	安全対策事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の避難訓練 ○不審者対応、防犯指導教室 交通安全教室 ○警察署との連携 遊具や園舎内外の安全管理及び自主点検、修理 	<ul style="list-style-type: none"> 研修計画 	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修（ケース会議、保育内容） 園外研修 研修報告
	小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 就学前情報交換 ○保育要録 職員の学校訪問 ○年長児小学校見学 各小学校たより掲示 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て相談事業（園庭開放など）○アルナ園（特養ホーム）交流 一時保育事業（一時休止）○ボランティア活動受け入れ（高校・大学） 近隣中学校職業体験及び保育実習受け入れ 地域交流（夏まつり・運動会・かきこまつり・移動動物園・どんと焼き）

年齢	0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳	
	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定	生命の維持・情緒の安定
ねらい	健康	<ul style="list-style-type: none"> 健康的で安全な環境をつくり、常に身体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。 一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、安心して過ごせるようにし愛着を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康的で安全な環境をつくり、一人ひとりの身体の状態を観察し、睡眠など適切な休息をとりながら、快適な生活ができるようにする。 生理的欲求や甘えなどの依存欲求を受け止めて情緒の安定を図り、信頼関係を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康的で安全な環境をつくり、快適な生活リズムの中で、心身ともに安心して過ごす。 一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、共感しながら自発性や探求意欲が高まるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生的で安全な環境の中で心身ともに安心して過ごすようにし、積極的に健康増進を図る。 一人ひとりの子どもが自分の気持ちや表現できるように見守り、それを受け止めて、子どもが自信をもって生活できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生的で安全な環境の中で安定して過ごせるようにし、積極的に健康増進を図る。 一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、自己肯定感が生まれ、保護者との信頼関係が深まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全に必要な生活習慣や自主協調の態度を身に付け、理解して行動できるようにし、就学に向けてより良い生活リズムを整える。 一人ひとりの子どもが主体的に行動する姿を認め、自信や意欲を持ってようになる。 					
	健康	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに応じて授乳やオムツ交換をしてもらい、心地よく生活する。 離乳を進めるなかで、徐々に様々な食品に慣れ食べさせることを楽しむ。 安全で活動しやすい環境の中で、はう、立つ、歩くなど様々な身体活動を十分に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全で活動しやすい環境の中で、自由に身体を動かすことを楽しむ。 ゆったりとした雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わう。 食事、排泄などを自分でしようとする気持ちが芽生える。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく伸び伸びと生活し、自分から身体を動かすことを楽しむ。 和やかな雰囲気の中で楽しんで食事やおやつを食べる。 着脱、排泄など簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外遊びを十分するなど遊びの中で身体を動かす楽しさを味わう。 食事、排泄、睡眠、衣服の着脱等、生活に必要な基本的な習慣が身につく。 	<ul style="list-style-type: none"> 全身をいながら身近な遊具や遊びに挑戦し、積極的に遊ぶ楽しさを味わう。 健康で安全な生活習慣が身に付き、見通しを持って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊具、用具を使い集団遊びや、やや複雑な行動を行うなど、色々な遊びを楽しむ。 健康、安全に必要な生活習慣を身に付け、その理由を理解して行動する。 					
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> あやされたり、語りかけられたりすることで、発声や表情などにより保育者と気持ちを伝えようとする。 聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚器官や手指の機能の働きを促す。 保育者に優しく受け止めてもらうことで、囁きや表情、身振りで自分の気持ちを伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者との関わりによって身近な人と関わる心地よさを感じる。 友達に関心を持ち、親しみを感じて関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や周囲の子どもの安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。 保育者と一緒に全身や手指を使う遊びを楽しむ。 身の回りのものや、親しみの持てる小動物や植物を見たり、触れたり、保育者から話を聞いたりして、興味や関心を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人と関わりを楽しむ。友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。 身近な動物や自然現象に興味を持ち、見たり触れたりして、親しみをもち遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づき守ろうとする。 身近な人と触れ合い、思いやりや親しみをもつ。 身近な動物や自然現象に興味や関心をもってかわかり、発見を楽しんだり、考えたりして、それを生活に取り入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の思いを受け入れたり、友達との違いを認めたりしながら、共通の目的を持って活動する。 異年齢の友達や地域の人々とかかわり、思いやりや親しみをもつ。 身近な環境や自然などに自ら関わり、様々な事柄や事象と自分たちの生活との関係に気づき、それらを生活や遊びに取り入れ、生活の経験を広げる。 					
	表現	<ul style="list-style-type: none"> 自分の欲求や気づきを伝えようとし、共感してもらうこと心地よさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちをしくしく言葉で表そうとし、保育者の応答的なかわりにより言葉を使うことを楽しむ。 保育者に絵本を読んでもらったり一緒に歌や手遊びをしりして楽しむ。 イメージしたものを立てて遊んだり、模倣を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者を仲立ちとして、生活や遊びの中で、ごっこ遊びや言葉のやり取りを楽しむ。 興味のあることや経験したことなどを生活や遊びの中で、保育者とともに好きように表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活、遊びに必要な言葉がある程度あり、自分の思いや経験したことを言葉で伝え、保育者や友達との会話を楽しむ。 感じたことや思ったことを描いたり、歌ったり、身体を動かしたりして、自由に表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活、遊びに必要な言葉がある程度あり、自分の思いや経験したことを言葉で伝え、保育者や友達との会話を楽しむ。 感じたことや思ったことを描いたり、歌ったり、身体を動かしたりして、自由に表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや考えたことを話したり、人の話をよく聞いたりして会話を楽しく、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 感じたことや考えたこと、想像したことを様々な方法で自由に表現したり、友達に伝え合いながら感性を豊かにする。 					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 身体発育や健康状態を的確に把握しながら、一人ひとりの生理的欲求を満たし、保育者の愛情豊かな受容により、清潔な気持ちの良い生活ができるようになる。 オムツをこまめに取り替えてもらい、きれいになった心地よさを感じるようになる。 ゆったりと安心できる雰囲気なかで、保育者に抱かれてミルクを満足するまで飲む。また、個人差に応じた離乳食を食べ進めて、次第に幼児食に移行する。 寝返り、はいはい、お座り、つたい歩き、立つ、歩くなど成長発達に応じた活動や、つまむ、たたく、引っ張るなどの手や指を使った遊びを十分に楽しむ。 囁きや片言を優しく受け止めてもらい、発声や保育士とのやりとりを楽しむ。 保育者が歌や歌を響んで聞いたり、歌やリズムに合わせて手足を動かして楽しむ。 保育者に見守られて、玩具や身の回りのもの一人遊びを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、適切な休息をとり、安心して生活が送れるようになる。 身体発育や健康状態の把握と、生理的欲求を十分に満たしてもらい、保育者の愛情豊かな受容で、気持ちの良い生活ができるようになる。 楽しい雰囲気の中で、スプーンやフォークを使って食事をする。 一人ひとりの排泄開閉を把握してもらい、トイレに誘ってもらうことで、トイレの排せつに慣れていく。 保育者とのかわりを十分楽しめ、保育者の仲立ちにより他児との関わりややり取りを楽しむ。 登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの運動を取り入れた遊びや、触る、たたく、つまむ、転がすなどの手や指を使う遊びを楽しむ。 自然物から自分に関わり、十分遊ぶ。 保育者の話しかけを喜んで、自分から片喋りして楽しむ。 保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、絵本を見たり、また、身体を動かしたりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境を清潔な状態に保つとともに、身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようになる。 楽しい雰囲気の中で、自分で食事をするようにする。 落ち着いた雰囲気の中で、気持ちよく昼寝をする。 簡単な衣服は、一人で脱くことができるようになり、手伝わなくてもいながら自分で着るようになる。 大人や友達、小さい子どもの身近な人に関心を持ち、関わろうとする。 遊びを通して友達と喜びや楽しさを共有する。 戸外遊びや遊具で遊ぶ機会を多くして、基礎的な運動機能の発達を図る。 身近な小動物、植物、物事などに触れそれらに興味、好奇心を持ち、探求や模倣などをして楽しむ。 保育者が仲立ちとなり、生活や遊びの中で、言葉のやり取りを楽しむ。 保育者と一緒に、水、砂、土、紙など様々な素材に触れて楽しむ。 簡単なストーリーのある絵本や紙芝居を見て、歌ったり、踊ったり、手遊びをしたりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に様々な欲求を温かく受け止めてもらうことで保育者に親しみをもち、安心感をもって生活する。 食事、排泄、睡眠、休息など生理的欲求が適切に満たされ、快適な生活や遊びをする。 保育者に援助されながら、生活に必要なことを行おうとする。 戸外で十分に体を動かしたり、様々な遊具や用具などを使ったりしながら遊びを楽しむ。 保育者と簡単なルールのある遊びを行い、遊びに必要な言葉や遊び方、ルールなどに気づく。 好きな遊びを繰り返し楽しむ中で、同じ遊びをしている友達に気づき、同じイメージで遊ぶ楽しさを味わう。 身近な人々の生活を取り入れたごっこ遊びを楽しむ。 身近な動物や自然現象をよく見たり触れたりなどして、親しみや愛情をもつ。 自分の思ったことや、感じたことを言葉で表現し、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 様々な素材や用具を使って、描いたり、動物や乗り物などの動きを真似て、身体で表現することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で自分の身体を清潔にしたり、身体の異常を感じたときには、保育士に知らせたりすることで、健康に必要なことを自分でする。 自分の気持ちや考えを安心して表すことができるなど、情緒の安定した生活ができるようになる。 季節や活動ごとに変化する生活の流れに期待や見通しをもって行動する。 異年齢の子どもに親しみ、思いやりの気持ちを持ったり、地域のお年寄りなど身近な人、いたわりの気持ちを持ったり。 仲間とのつながりに心地よさや安心感を抱き、親しみが深まる。 自然や身近な事柄、事象に触れ、驚いたり、感動したりして、興味や関心を深める。 具体的な物を通して、数や量などに興味を持ち、簡単な数を数えたり、比べたりすることを楽しむ。 日常生活に必要なあいさつをし、友達との会話を楽しむ。 友達の経験した話、提案する話を興味をもって聞いたり、自分の話を聞いてもらったりする喜びを味わう。 感じたこと、想像したことを言葉で発し、体や言葉、造形などで自由に表現して楽しむ。 						

食育	<ul style="list-style-type: none"> 発達に合わせ、落ち着いた雰囲気の中で授乳する。 個々に応じて離乳食を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 移行食を経て、幼児食になる。 意欲的に食べる。 様々な食べ物を見る、触る、味わう経験を通して意欲的に食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> こぼさないで食べる。 野菜の栽培や観察を通して食材への興味を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 食べることの楽しさを知る。 野菜の栽培や収穫に関心を持つ。 基本的な食習慣が整うように意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事のマナーを理解して、楽しく食べる。 野菜の栽培、収穫に関わる。 調理活動を行う（皮むき、混ぜる、こねる、など）
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携を密にして、子育てを援助していく。 生活リズムや丁寧を確認する。 健康状態など細やかに伝へ合う。 離乳食の進め方について家庭と共に考え無理なく進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 成長している姿を分かりやすく伝えていく。また、個人差を理解できるように丁寧に話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の状況を把握し合い、自分できる喜びを感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 園と家庭との信頼関係に基づき日常生活の実体験の中で基本的な生活習慣が身につくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安定して生活できるよう、園と家庭で配慮し、主体的に行動する気持ちを育てていくようにする。 就学への期待、喜びを共有する。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達状況や生活リズム及び心身の状態に十分配慮し、くつろいで過ごせるよう環境を整える。 年齢や発達に合った保育を行うとともに、異年齢のかわりを見守る。 職員間の協力体制のもと、一人ひとりの子どもの情報共有、伝達を行い、家庭との密な連携をとる。 				

※青字：状況を見て実施